

仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 中間案  
に係る市政モニターアンケート調査結果について

## 1. 回収結果

- ・ モニター数 200名
- ・ 回答者数 184名
- ・ 回答率 92.0%
- ・ 回答者の年齢構成

	回答数（人）	構成比（%）
20歳代	11	6.0
30歳代	47	25.5
40歳代	40	21.7
50歳代	22	12.0
60歳代	36	19.6
70歳以上	28	15.2
合計	184	100.0

## 2. 設問項目ごとの主な意見及び集計結果

### (1) 設問項目

#### 【高齢者保健福祉計画 問5】

高齢者保健福祉計画分野（第1章～第4章）の下記の点について、ご記入ください。

- (1) 第3章では「基本目標」とその実現に向けた施策の「8つの柱」を掲げ、介護保険制度の改正や高齢者を取り巻く社会情勢の変化などを踏まえた施策展開の方向性を示しています。その内容について妥当だと思いますか。また、その理由もお書きください。
- (2) 第4章では「8つの柱」の中で取り組む施策を掲載しています。その中でも特に重点的に市が取り組むべき項目は、どの項目だと思いますか。また、その理由についてお書きください。
- (3) その他、高齢者保健福祉計画分野（第1章～第4章）についてご意見等がありましたら、自由にご回答ください。

#### 【介護保険事業計画 問6】

介護保険事業計画分野（第5章～第6章）の下記の点について、ご記入ください。

- (1) 現在の介護保険制度について、日頃どのように感じていますか。
- (2) 65歳以上の方（第1号被保険者）の介護保険料の段階設定及び試算についてどう思いますか。
- (3) その他、介護保険事業計画分野（第5章～第6章）についてご意見等がありましたら、自由にご回答ください。

## (2) 設問項目ごとの主な意見の概要について

### 【高齢者保健福祉分野（第1章～第4章）】

#### 問5（1）基本目標、「8つの柱」について

基本目標、「8つの柱」については、的確で良いという意見の一方、具体例が欲しい、優先順位を付けるべき、という意見なども寄せられました。

- 当面心配される事項について、ほぼ全般的に網羅されていて、良くまとめていると思う。
- 推進していく課題が多すぎても少なすぎてもいけないし、基本目標として「やらなければいけない事」を分かりやすく掲げるのは良いと思う。
- 基本目標と8つの柱はどれも外すことができず、妥当。
- 妥当であると思うが、具体的な数字を盛り込んだ方が、分かりやすいし、達成度も認知しやすい。
- 提案や目標は納得できるが、実現するための具体的な数値目標などより踏み込んで欲しかった。
- 内容によっては妥当と思うが、8つの柱という並列的な捉え方でなく、強弱をつけた目標が必要では。
- 努力目標だけを掲げただけの絵に描いた餅にならないように、数を減らして、今後急に実施改善しなければならない施策に絞っても良いのでは。
- 全て妥当と思うが、全てを一気にやるのは不可能だろう。補完しあうものがあるので優先順位を付けることが大事だと思う。
- これまでの施策の評価と課題との関わりがもう少しあればと思う。
- 役所の縦横関係修復、地区毎のまとまりの二本立てをきちんとしなければ基本目標は成り立たない。高齢化のみならず、障害者の方をどうするかという計画も念頭に置いてほしい。
- これをいかに実現していくかの方が重要で、実のあるものにしてほしい。
- 理想論が多すぎるように感じる。

#### 問5（2）「8つの柱」の施策体系、重点項目について

重点項目として挙げられた件数と主な意見は、施策体系別に以下のとおりとなりました。

<b>(1) 高齢者の社会参加・生きがいづくりの促進</b>	<b>83件</b>	<b>(16.0%)</b>
--------------------------------	------------	----------------

- ・シルバー人材センターなどを強化し、就業機会を多くしてほしい。
- ・地域周辺にある市民センター、老人福祉センターなどを積極的に利用参加できる内容の企画はぜひやってもらいたい。
- ・（高齢者が）社会で働く前の基本的な教育をしっかりとしてほしい。
- ・高齢になったときに考えるのではなく、老後の備えといったような広報も必要。
- ・何歳になっても、社会の一員として社会に貢献しているという意識が持てることは大切。
- ・高齢者の集まり（集会）だけでなく、保育園や小中学生との交流を深められるような活動があると楽しい。
- ・高齢者が受け身だけでなく、自らも力をだすことが大事。
- ・もともと活躍している高齢者だけでなく、独居老人に社会的役割をもってもらいたい。

<b>(2) 介護予防に積極的に取り組める環境の整備</b>	<b>58件</b>	<b>(11.2%)</b>
--------------------------------	------------	----------------

- ・長い目でみると、介護予防や人材確保が大変重要。
- ・なるべく長く健康で、医療・介護にかかる費用をおさえるべき。
- ・要介護者のケアをするより、比較的軽度な方々の進行予防することが最善と思う。
- ・如何にして健康寿命を延ばすかが重要だが、一人一人の日頃の心がけが全て。
- ・食事は介護予防の基礎である。生涯学習に位置付けてもよい。

**(3) 地域における支え合いの体制づくり** 63件 (12.1%)

- 行政サービスが利用できない時に頼れるのは近くの他人。
- お年寄りにとっては永年暮らしてきた生活エリアに愛着もあり、生活の中心だと思うので、地域が支え、自分もその一員であると思うことが良い影響を与えると思う。
- 行政の力では限界がある。町内会の活用を積極的に行うべき。
- 町内会や民生委員などのできる権限を増やし、予算も多く割いていくべき。
- 地域で支え合うのはむずかしい。今の時代は特に、大変でも支援を望まない方もいる。

**(4) 地域で認知症の方とその家族を支える体制の整備** 61件 (11.7%)

- 一人暮らしや老人だけの世帯が増えると予想すると、地域の役割も大切な要素。
- 早期発見、早期治療は個人、家族の協力があっても限りがある。
- 認知症や一人暮らし、特に人と関わる事を好まない方に対しては、家族も手助けがあるのとなしいのでは違ってくると思う。
- もっと身近な所でどんどん相談できるところを増やしたら良い。
- 認知症の方への対応など、子どもの時から教育の中で自然に学んでいけるようにすれば良い。
- 地域、家族と共に成年後見人の育成が必要になってくると考える。

**(5) 多職種連携による在宅での療養・介護提供体制の構築** 49件 (9.4%)

- 地域包括支援センターをもっと積極的に活動させ、町内会などと情報交換し、無駄なく展開してほしい。
- 病院や介護の現場、住民への情報開示・情報共有は大切。
- 病院から在宅へ移る時スムーズにいかないため、より良いアドバイスのできる職員を病院に配置する等したほうが良い。
- かかりつけ医のレベルアップの為に、研修制度の充実、待遇改善、地域格差をなくす等の点を重視したカリキュラムの必要性を感じる。

**(6) 日常生活圏域を中心とした介護サービス基盤の整備** 61件 (11.7%)

- 地域やコミュニティ等に頼るには限界があるし、現代社会においては難しいと思うため重要。
- 個人ではできないハード面をより強めてほしい。
- 在宅だけでなく、施設におけるサービスも希望者のニーズに合わせた対応が必要。
- 廃校を有効利用し、介護施設に転換できないものか。
- 不足する施設の基盤整備は早いほど良い。

**(7) 将来にわたる介護人材の確保** 82件 (15.8%)

- もう少し気軽に参加できるボランティア講座などがあるといい。
- 専門性を身につけるのも勿論だが、人間の尊厳をも理解する人材育成を希望したい。
- 必要ななくてはならない仕事なのに、介護職の社会的地位が低すぎると感じる。
- 介護職はきつく給与が安いので、体を壊す人も多い。就業環境を整えることがとても重要。
- 介護の仕事に関してあまり良いイメージがないので、介護の仕事をする人の処遇改善や、実際の現場の声を伝えることは大切。
- 体験学習のような形で小さいころから介護の現場に行ったり、高齢者と接する機会があれば、こういった仕事なのか理解でき、イメージも変わる。

**(8) 多様な生活ニーズに対応した快適で安心できる暮らしの確保** 63件 (12.1%)

- 早いうちから在宅支援、巡回をすることで、認知症の早期発見、介護保険制度へのすみやかな移行、日常生活圏域を中心とした介護サービス基盤の整備につながるなど、一番の基本的な道筋になる柱。
- 公共機関の整備、街づくりは市が明確なビジョンを持って取り組んでほしい。

計 520件 (100.0%)  
(重複回答含む)

## 問5 (3) 高齢者保健福祉計画分野 (第1章～第4章) について

高齢者保健福祉計画分野全般については、主に以下のような意見が寄せられました。

- 地域の住民参加型の事業計画が多いようだが、その役割を明確にして希望者を募るという行政の積極的な働きかけ、声かけがなければ“隣は何をする人ぞ”という現状ではムリ。
- ばく然としていて、いまいち想像がつきにくい。
- 理念も大切だが、現状の急を要する課題を解決していくことも大切にしてほしい。
- 実現を目指すには、項目を少し減らし簡素化したらどうか。
- 仙台らしいオリジナルがほしい。
- 現場の意見を最優先に聞き取ってほしい。
- 書面だけでなく、ひらかれた窓口があれば高齢者の方は相談しやすいのではないか。
- もう少しわかりやすい体制の提示提供があってほしいと思う。
- 仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画のPRが今後必要。

## 【介護保険事業計画分野 (第5章～第6章)】

### 問6 (1) 現在の介護保険制度について

介護保険制度をわかりやすく広報して欲しいという意見や、質の向上等に関する意見などが寄せられました。

- 介護保険は制度として改善しつつ、良い制度になっていると思う。
- 理念は立派だが、現状サービスがそれに追いついていない。
- 必要に応じたサービスを誰もが利用できるが、機能の標準化はされていないように感じる。
- 自治体によって認定の(判定の)区分の厳しさに差があるように感じる。
- 制度をよく理解しフル活用している家庭と、理解しないまま利用しない家庭とに二分される。制度を活用できるように手助けする人が必要。
- 色々な制度が整っているが、利用していない(わからない)方がたくさんいると思う。
- 介護保険を利用する者を厳選すべきである。安易な利用は負担の増につながる。
- 後期高齢者保険との一体制度にしたほうが良いのではないか。

### 問6 (2) 保険料段階の設定および試算について

#### 【保険料段階の設定】

所得に応じた段階設定は必要という意見や、段階をさらに細かくすべきとの意見などが寄せられました。

- 所得に応じた保険料段階設定は妥当である。
- 所得の低い層で軽減した分を、所得の高い層の負担で賄えるよう設定している設計は妥当。
- 増額される方々については、700万以上の人の保険料が同じというのは不公平ではないか。もっと細分化した方が良いのではないか。
- 7～9までは「所得の低い層」、10以上が「所得の高い層」ということにしてはどうか。
- 段階1と10とでは、保険料が4倍も違う。同じサービスを受けるのであれば、それぞれもう少し基準額に近づけるべきではないか。
- 所得で区切るのではなく、個人の財産総額で段階を分けても良いのではないか。
- 基金を活用して、少しでも軽減等今後も継続してほしい。

## 【保険料の試算】

お寄せいただいた意見を以下のとおり分類し集計しました。

内 容	市政モニター	
	意見数（件）	割合（％）
概ね妥当（やむを得ない等の回答含む）	54	36.7
高い	54	36.7
もっと増額してもよい	1	0.7
高所得者・利用者等はもっと増額してもよい	11	7.5
低所得者・非利用者等はもっと減額してもよい	9	6.1
分からない	18	12.3
合 計	147	100.0

### （概ね妥当という意見）

- 第6期の対前期比+507月（9.9%増）は過去の伸び率から見て概ね妥当と思われる。
- 介護される立場からサービス給付を見れば、妥当だと思った。
- 介護サービスの量、質の面からみて保険料がアップするのはいたしかたない。
- 費用負担はやむを得ないが、コスト以上のパフォーマンス（メリット）が出るよう、行政側からの支援を期待する。
- 高齢社会が進む中でやむを得ないと思う一方、年金支給額が年々減少していくことに対する不安もある。

### （高いという意見）

- 消費税が上がり、年金額が減る現状の中、高齢者にとって介護保険料の負担額が大きい。
- 低所得者、年金生活者にとって負担が大きい。
- 基準額より増額される方の保険料が少々高いように感じられる。

### （もっと増額してもよいという意見）

- 国の負担、県や市の負担があまりに多く、もう少し被保険者に負担させても良いのでは。

### （高所得者・利用者等はもっと増額等してもよいという意見）

- 一定以上収入がある方の負担額を増やすべきだと思う。
- 高額所得者の累進段階をもっと区分けして、さらに高額な所得がある対象者からはもっと多くの額を徴収すべき。
- 利用している人からの徴収を多くした方が公平だと思う。
- 65歳以上だけでなく、40歳以上の所得の高い方の負担額をもっと多くしてもらいたい。

### （低所得者・非利用者等はもっと減額等してもよいという意見）

- 低所得者の人達には軽減額を大きくしてもよい。
- 保険料は一定額にし、低所得層へ段階的に何らかの控除をした方が現実的。
- 健康維持者としては、保険料徴収に不公平感を持つ。何らかの減免措置があってもよい。
- 介護保険を使わない方や、長年使わなかった後期高齢者に戻すぐらいあってもよいのでは。

### （その他）

- 個人から介護保険料を徴収しないで、税金でまかなえるようにしてほしい。
- 第2号被保険者の年齢を低くし、第1号被保険者の負担を軽くしてはどうか。
- 多少高額でもそれに見合ったサービスが受けられれば、高額だと感じないのではないか。

## 問6（3）介護保険事業計画分野（第5章～第6章）について

介護保険事業計画分野全般については、主に以下のような意見が寄せられました。

- サービスの種類が多種多様にあることがわからなかったので、介護についての市民への情報提供の工夫なども、計画内容に含めていただきたい。
- 介護福祉サービスの種類等が多過ぎて混乱してしまうので、イラスト等用いた分かりやすい資料を全市民に配布してほしい。
- 介護保険利用対象者を増やさない施策を強化する事もやっていただきたい。
- 事業者に対する指導、監査を徹底してもらいたい。
- 介護保険事業はなかなかむずかしい問題。年末の忙しい時期でなく、もう少し時間的な余裕がある時にお願いしたい。
- 今回のアンケートは専門的すぎると感じた。